

平成26年度「新城市市政モニター」アンケート項目反映状況

調査月	担当課	テ ー マ	反映状況	反映件数	反映の内容(平成26年度のアンケートを反映させて27年度に実施した内容)
8月	人事課	市職員の対応について	継続調査していく	1	窓口担当課に対して専門家による接遇対応の実地研修を実施し、市民満足度の向上に努めた。今後もさらなる市民満足度の向上を目指し、対応状況の把握を行う。
	契約検査課	市役所の窓口サービスについて	継続調査していく		
	市民自治推進課	若者議会について	反映した	2	①「若者」の定義について、「中学生から」が24%、「30歳まで」が36%であったため、若者条例では「おおむね15歳からおおむね29歳まで」と規定した。 ②「若者議会の権限」について、「若者が行政に対して政策を提言する」、「市の一部の予算の使い道を決める」あわせて71.9%であったため、若者議会に市長の諮問にこたえることができる権限を付与した。
	総合政策部 (H27 行政課)	行政改革について	反映した	2	①行政改革の取組を学識経験者及び市民を交えた外部から評価するため、新城市行政改革推進計画外部検証委員会を立ち上げた。 ②行政改革の取組を市民に発表する機会として、新城市行政改革推進計画取組事例発表会を平成28年2月27日に開催する予定。
10月	観光課	観光振興について	参考資料とした	1	観光基本計画の課題として掲げている「市民の観光に対する意識の変化」を調査し、平成24年度作成のアクションプラン(活動計画)の進捗状況の参考資料として使用している。
	商工・立地課	消費生活に関するトラブルについて	参考資料とした	1	消費者生活に関するトラブルの現状を把握。その内容及び対応方法を知ると共に、これに係る相談窓口の周知を行い、トラブルになった場合に安心・迅速な解決が出来ることを知っていただけるようにしている。
	秘書広報課	市ホームページについて	反映した	2	①平成26年7月にホームページを一新したが、知らなかった人が73.4%とほとんどだったため、平成27年4月からホームページから市政番組「いいじゃん新城」や観光PR動画を見られるようにして、市政番組とホームページとの連携を図った広報PRに取り組んだ。 ②市のホームページに各課のフェイスブックのリンクを貼り、閲覧しやすくした。
	市民自治推進課	若者政策について	参考資料とした		①若者総合政策をまとめる際の参考資料とした。
12月	秘書広報課	広報「ほのか」について	反映した	2	①保存用ファイル利用率が50%であったため、平成27年度に財源確保と市内事業所のPRを兼ね広告を掲載し、全額広告料でファイルを発行した。 ②「毎月読んでいる・時々読む」人が85.7%であったが、平成27年4月から広報紙とスマホを連携させ、スマートホンへ配信するアプリ「i広報紙」を導入し、より購読率アップを目指した。
	秘書広報課	CATV市政番組「いいじゃん新城」について	反映した	1	①取り上げてほしい内容で、「市内で活躍するまちづくり団体や文化・スポーツ団体」が28.7%、「市内の観光ポイント」が21.0%と高かったため、まちづくり団体の紹介やSバスの旅で市の魅力を伝える番組内容を多くした。

	市民自治推進課	男女共同参画について	参考資料とした	1	①男女共同参画プラン後期策定に向けた、プランの基礎資料および参考資料として活用した。
	土木課	新東名高速道路について	継続調査していく		新東名開通に期待すると回答した方が80.6%を占めており、期待の大きさが伺える。期待する内容、利用目的など開通する平成27年度も継続調査し、意識の推移を調査するとともに、新東名を活用した地域振興に反映させていく。
2月	商工・立地課	軽トラ市について	参考資料とした	1	消費者生活に関するトラブルの現状を把握。その内容及び対応方法を知ると共に、これに係る相談窓口の周知を行い、トラブルになった場合に安心・迅速な解決が出来ることを知っていただけるようにしている。
	秘書広報課	パブリックコメントについて	継続調査していく		制度を知らないという意見が74.0%と依然多いので、今後も広報、ホームページ等を利用して周知を行うとともに、鳳来・作手総合支所での閲覧も継続して行う。
反映件数合計				14	